

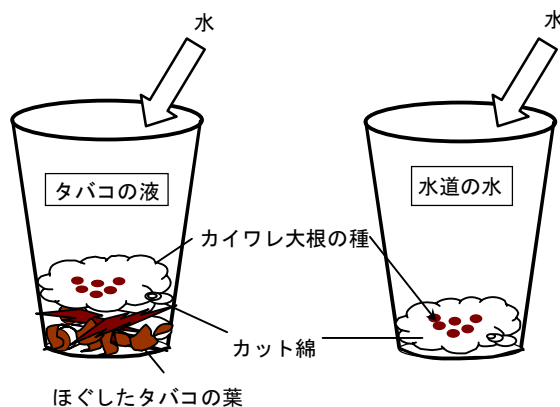
カイワレ大根の実験 ～タバコで成長が遅れる実験～

1 用意するもの

- (1) カイワレ大根の種、透明のコップ、カット綿は、お渡ししたものをお使いください。
- (2) タバコ2本、割り箸、水は、各自でご用意ください。

2 実験の手順

- (1) かいわれ大根の種を2つ（約30粒ずつ）に分けます。
- (2) 2つのコップにそれぞれ、「タバコの液」「水道の水」と書きます。
- (3) 「タバコの液」のコップに、フィルターを取ったタバコ2本分を入れ、タバコを割り箸で軽くほぐします。その上にカット綿をのせ、カット綿の上に(1)の約30粒の種を置きます。
- (4) 「水道の水」のコップには、カット綿を入れて、カット綿の上に(1)の約30粒の種を置きます。
- (5) 両方のコップに、カット綿がひたるまで静かに水を入れます。
- (6) 風通しの良い日陰の場所に置いて発芽の観察をしてください。毎日、カット綿がひたる程度まで水を加えます。
- (7) 夏期なら5日くらいで「たばこの液」「水道の水」の成長の差がはっきりとわかります。冬期でも、室内の暖かい場所なら10日くらいで変化が出ます。



3 注意点

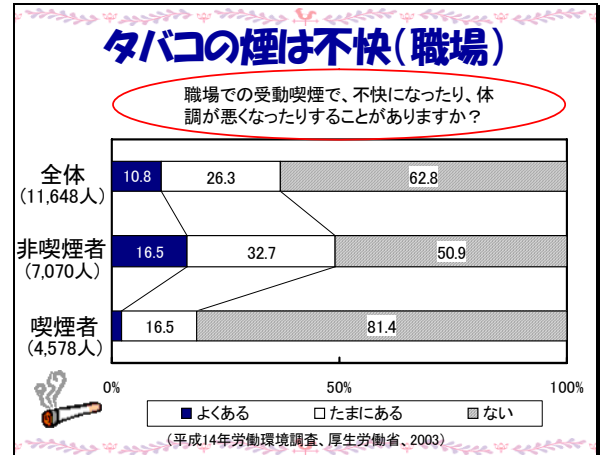
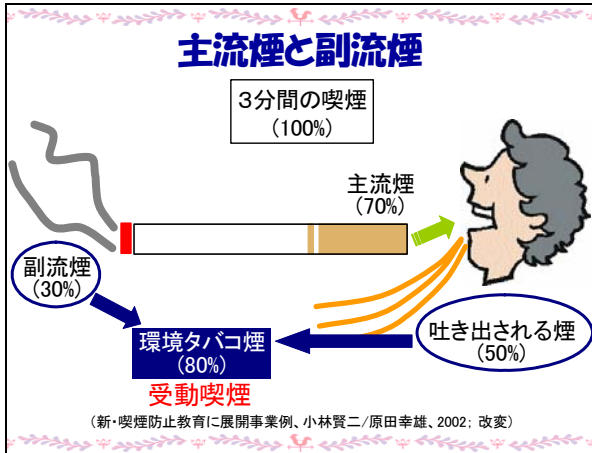
- (1) 直射日光は避けて、風通しの良い日陰に置いて観察しましょう。
- (2) 温度が高いときは、種や水が腐ることがあるので、2日に1回くらいはコップを振って、水を動かすようにしましょう。
- (3) 実験後の処理について
 - ア 「水道の水」の方は水切りネットの中に入れて、中の水を流し、残ったカイワレ大根とカット綿は生ゴミとして出してください。
 - イ 「たばこの液」の方は、液、カイワレ大根、カット綿ともにビニール袋に入れて生ゴミとして出してください。
 - ウ 使用したコップは、洗った後、プラスチックゴミとして出してください。また、使用した割り箸は生ゴミとして出してください。

(新・喫煙防止教育の展開事例集、小林賢二/原田幸男、2002；改変)

妊娠・子育てと“タバコ”

1 タバコの煙は有害で不快

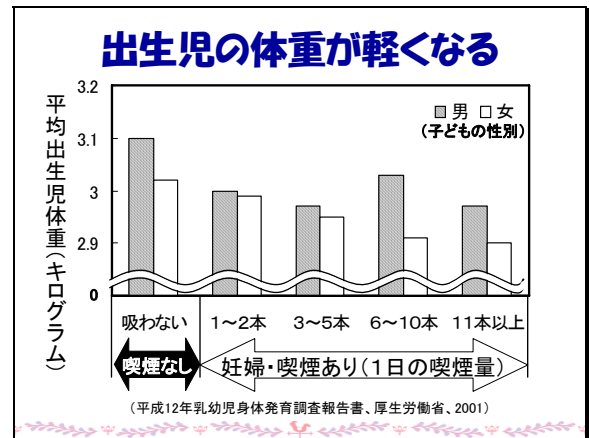
- * タバコの煙には200種類以上の有害物質が含まれています。
- * タバコの煙は、主流煙と副流煙に分けられます。
- * 吐き出された煙と副流煙を合わせて、「環境タバコ煙」といいます。
- * タバコの煙は、たばこを吸わない周囲の人へも影響を与えます。(=受動喫煙)
- * 厚生労働省の調べで、非喫煙者の方が喫煙者よりも、職場でのタバコの煙は不快だと感じる人が多いことがわかりました。



2 タバコの煙は胎児に有害

- * 妊婦がタバコを吸うと、流産・早産や子どもが低体重(2500g以下)で生まれる危険が大きくなります。
- * 妊娠中に父親がタバコを吸う場合でも、生まれてくる子どもの体重が軽くなることが報告されています。

タバコを吸っている人はこれを機会にタバコをやめましょう。



3 タバコの煙は子どもに有害

- * 出産後も、授乳、やけど・誤飲事故、受動喫煙でタバコは子どもに影響します。
- * 子どもの受動喫煙は、乳幼児突然死症候群(SIDS)や喘息の危険因子です。また、喘息の発作や症状を悪化させたり、中耳炎になりやすくしたりします。

生まれてくる子ども達や、周りでタバコを吸っている人達へもタバコの影響を伝えましょう。



子どもの受動喫煙による健康被害

報告	米 1986	米 1992	米 1997	英 1998	WHO 1999
	公衆衛生局	環境保健庁	環境保健庁	タバコ科学委員会	非感染症疾患部門
SIDS*の危険因子			◎	○	◎
喘息の危険因子		○	◎		
喘息の発作、症状(悪化)		◎	◎		◎
中耳炎(増加)	○	◎	◎	◎	◎

◎:原因である ○:関連がある *SIDS:乳幼児突然死症候群

(ニッポンの「たばこ政策」への提言、望月友美子編、2004; 改変)